

技術情報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察技術情報第3号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ） 新世代の発生量及び果樹園への飛来時期について

8月以降は果樹カメムシ類が越冬成虫から新成虫に入れ替わる時期となります。

現在、新世代は主にヒノキきゅう果上に生息し、きゅう果が餌として好適な間はきゅう果上にとどまっていますが、吸汁が進むときゅう果が餌として不適となり、ヒノキから離脱し果樹園へ飛来します。今後の発生については下記のとおり予想されますので、果樹園への飛来に注意願います。

記

1 新世代の発生量について

- (1) 7月下旬に実施したヒノキきゅう果のピーティング調査の結果、1枝当たりの寄生虫数は2.6頭（平成1.3頭）で平成よりやや多い（表1）。
- (2) 7月上旬に実施したヒノキきゅう果着生状況調査の結果、県内14地点の平均着生量は2.6（平成3.3）で平成よりやや少ない（表1）。
- (3) 新世代の発生量はヒノキきゅう果の着生量との関係が認められ、9月以降の発生量は概ね平成並と予想される。

表1 ヒノキのきゅう果におけるカメムシ類の寄生状況（平成22年7月26、29日調査）

枝当たり虫数 (頭/枝)	チャバネアオカメムシ					ツヤアオカメムシ					合計	きゅう果 着生量
	成虫	老齢	中齢	若齢	計	成虫	老齢	中齢	若齢	計		
平成22年	0.5	0.3	0.9	0.7	2.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	2.6	2.6
平成	0.3	0.2	0.3	0.3	1.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	1.3	3.3

寄生状況はピーティング調査により行った。

きゅう果着生程度は、7月5～13日に5段階（多：5、やや多：4、中：3、やや少：2、少：1）で達観調査した。

2 果樹園への飛来時期について

7月24、30日に採集したヒノキきゅう果の口針鞘数調査の結果、果樹園への飛来時期は表2のとおりと予測される。

表2 ヒノキきゅう果1果当りの口針鞘数及び果樹園への予測飛来日

地域名	口針鞘数	予測飛来日	地域名	口針鞘数	予測飛来日
諫早市多良見町東園	1.0	9月17日	東彼杵町赤木	1.1	9月17日
長与町岡	1.9	9月14日	佐世保市針尾	1.0	9月17日
時津町子々川	7.3	8月26日	佐世保市宮	6.5	8月28日
西海市西彼町小迎	2.7	9月11日	雲仙市瑞穂町伊福	0.6	9月15日
〃 西海町木場	4.5	9月5日	〃 国見町百花台	0.9	9月14日
諫早市長田	1.0	9月14日	南島原市有家町新切	0.9	9月16日
大村市今村	2.7	9月11日	〃 北有馬町田平	1.9	9月11日

注1 平成22年7月26日、29日に採集した、きゅう果30果の口針鞘数の調査結果による。

注2 きゅう果1果当たりの口針鞘数が25以上になると、きゅう果は餌として適さなくなるため、カメムシはヒノキから離脱し果樹園に飛来する。

注3 予測日は福岡県農業総合試験場作成による予測式を利用した。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 上記の予測飛来日を参考に園の見回りを徹底し、飛来が見られたら早急に防除を行う。
- (2) 飛来時期や飛来量は、同一地域内でも園によって異なる場合があるので注意する。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027